

■キャリア支援センターの実施する インターンシップについて

- インターンシップとは、企業など実際の職場において、ある一定期間そこの仕事を体験してみることです。言い換えれば、就業のプレ体験になります。
- キャリア支援センターでは、これまで「体験型インターンシップ」「実践型インターンシップ」の2種類のインターンシップを実施してきました。
*体験型インターンシップ、実践型インターンシップについて詳しく知りたい人は、香川大学キャリア支援センターのホームページをご覧ください。
- 平成23年度からは、「体験型インターンシップ」のカテゴリーの中に「**鍛えあげインターンシップ**」を新規設定し、より踏み込んだ就業体験ができるようにしました。

■鍛えあげインターンシップとは？

- 鍛えあげインターンシップのねらいは、学生が**職場に入り込んだ体験**をし、社会のリアリティに触れ、これまでの自分から「**一皮むける**」経験をすることです。
- そのために、鍛えあげインターンシップでは、体験型インターンシップから一歩踏み込んで、**受け入れ先の職場により関わりを持つこと、経営者等との深い対話を持つこと**など、職場ごとの独自プログラムによる研修内容を用意しています。
- 学生は、実践的な体験を積み上げる中で、気付きを通じて、**自己成長・自己革新**を促進します。

*鍛えあげインターンシップの概要は右の図をご覧ください。

■鍛えあげインターンシップの概要

準備 ～「鍛えあげ講座」～

鍛えあげインターンシップの準備講座として「鍛えあげ講座」を開講します。「鍛えあげ講座」では、職場で必要とされるスキルである、自己理解、論理思考、リーダーシップ、フォロアーシップについて学びます。

日時：令和元年7月21日（日）9:00～17:30
場所：図書館ラーニングcommons

本番 ～「鍛えあげインターンシップ実践」～

① 申込(5月～6月)

各学部のインターンシップ担当に「鍛えあげインターンシップ」の参加申込みを行ってください。

② インターンシップ先の決定(6月～7月)

「鍛えあげインターンシップ」受入企業一覧から、希望する企業を選択します。申込者が企業の定めた受入人数を超える場合には、希望企業等の変更など、調整を行い、インターンシップ先を決定します。

③ 受入企業との顔合わせ(7月)

事前交流会を開催します。参加学生と受入企業の顔合わせをおこない、「鍛えあげインターンシップ」にむけた心構えや、働くことについて率直な意見交換をおこないます。



日時：令和元年7月24日（水）13時～14時30分
場所：オリーブスクエア 多目的ホール
（幸町キャンパス）
※極力参加するようにお願いします。

④ 研修内容の決定(7月～8月)

受入企業とコーディネーターが打合せをしながら、研修内容を決定していきます。

⑤ 鍛えあげインターンシップの実施(8月～9月)

夏季休業中に実施します。



振り返り ～「鍛えあげインターンシップ報告会」(10月)～

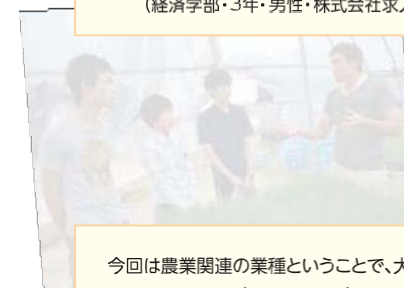
受入企業と大学の担当者との担当者交流会を開催し、意見交換や次年度に向けた提案等を協議します。



●参加学生の声

以前までは曖昧だった「働くということ」の輪郭が今でははっきりと捉えられた気がします。自分一人では働くことはできません。周りの色々な人と支え合いながら、仕事をするのが「社会で働く」ということだと思います。インターンシップでは本当に様々なことを学び、成長することができました。『1週間前までの自分じゃない、新しい自分がある』今ではそんな自信を感じています。

（経済学部・3年・男性・株式会社求人タイムズ社）



今回は農業関連の業種ということで、大学で得た知識を活かすことができたのですが、全く関わった事のない分野にも挑戦してみたいと感じました。就職が決まると、関わる分野は限定されてくるので、今のうちに多くの業種を体験し、経験を積んでおくのは良いことだと思います。多くの業種を体験することは、仕事を選ぶ際にも非常に参考になります。また、大学の授業は座学が大半を占めます。実際の仕事の現場では、大学で学んだ知識が応用されているので、それを見て体験するということも非常に面白いです。

（農学部・3年・男性・香川県農業協同組合）

